

徳島市のNPO クレエール

子ども食堂 本格オープン

徳島市のNPO法人「Creer(クレエール)」が試験的に開いていた子ども食堂が7日、県労働福祉会館(昭和町3)で本格オープンした。運営を支えようと、大学生がボランティアとして参加。寄付金や食材も寄せられ、支援の輪が広がっている。

ボランティアの申し縄璃斗さん(18)は「子供込みは、市民2人と徳どもとの接し方を学ぶ島大、徳島文理大の学良い機会になる」と笑生19人からあった。子顔を見せた。

ども食堂をまちづくり 青果物卸「やます鈴事業に選定した市が両 栄青果」(北沖洲4)大学に協力を依頼。大は、県産野菜を中心に学は学生の奉仕活動に必要な量を毎日提供す単位を与える県の「と」と申し出た。スーパークレシマボランティアパーのハローズ万代町店スポーツ」制度を適用(万代町5)も総菜として学内で募った。菓子、乳製品などを提供する。

この日は徳島文理大 供する。

の2人が給仕を手伝つ 徳島城山ライオンズたり、子どもと触れ合クラブは5日に市内でったりした。人間生活 開いたチャリティーコ学部心理学科1年の竹ンサートの収益金など

大学生ボランティア参加



クレエールの子ども食堂が「やます鈴栄青果」から提供を受けた野菜—徳島市昭和町3

16万4千円を寄付した。

クレエールの原田昭仁理事長は「支援に感謝するとともに責任の重さを感じる。長続き(新居和人)」

するよう頑張りたい」と話した。

平日の午後1〜6時と、第4土曜の午前10時〜午後3時に開設。

平日は昼食と夕食、土曜は昼食を、高校生以下に無料で提供する。

大人は平日500円、土曜千円。